

小学校と江戸東京博物館をつなぐ 常設展活用ガイド

江戸東京博物館の常設展示室では、江戸東京の歴史と文化、そこに暮らす人々の生活を楽しみながら学ぶことができます。実物の資料だけでなく、原寸大で再現した模型や精巧なジオラマ、実際に触っていただける体験展示などをご用意しています。

学習の場として有効に活用していただけますように、常設展示室見学のポイントをご紹介します。



【江戸ゾーン】芝居小屋・中村屋(正面部分)



【東京ゾーン】ちょうや朝野新聞社

【利用案内】

開館時間 9:30～17:30、土曜日は9:30～19:30(入館は閉館の30分前まで)

休館日 月曜日(月曜が祝日または振替休日の場合はその翌日)、年末年始

※当館ホームページの「カレンダー」をご参照ください。

場 所 〒130-0015 東京都墨田区横網1-4-1

電 話 03-3626-9974 (代表)

交 通 ○ JR 総武線「両国駅」西口下車 徒歩3分

○ 都営地下鉄大江戸線「両国駅(江戸東京博物館前)」A3・A4出口 徒歩1分

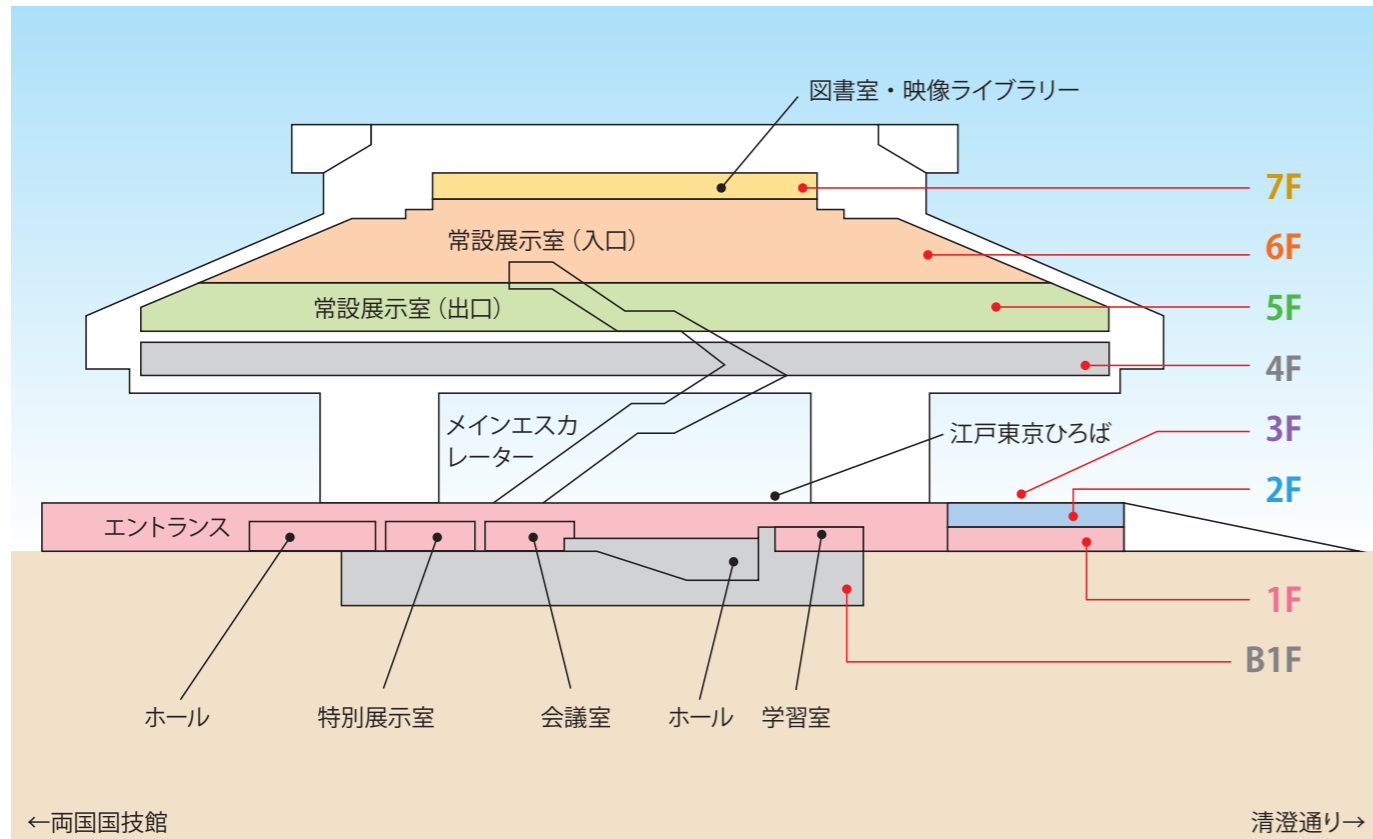
○ 都バス錦27・両28・門33系統、墨田区内循環バス南部ルート「都営両国駅前(江戸東京博物館前)」下車、徒歩3分

観 覧 料

	常設展観覧料	個 人	団 体 (20名以上)
一般		600円	480円
大学生・専門学校生		480円	380円
高校生・中学生(都外)・65歳以上		300円	240円
中学生(都内在住または在学)・小学生・未就学児童		無 料	無 料

※特別展観覧料(1階特別展示室)は毎回異なります。

【施設概要】



7F	●図書室 ●映像ライブラリー	和食・甘味処	トイレ 車いす用 トイレ コイン ロッカー 水飲み場
6F	●常設展示室(入口) (常設展音声ガイド貸出) (車いす・ベビーカー貸出)	常設展ボランティアガイド受付 (10:00~15:00)	トイレ 車いす用 トイレ
5F	●常設展示室(出口) ●5F企画展示室	案内所(点字ガイドブック貸出) ミュージアムショップ	トイレ 車いす用 トイレ 水飲み場 授乳室 救護室
4F	一般の方は入れません。		
3F <small>おくがい (屋外)</small>	●江戸東京ひろば ●チケットうりば	北側休憩所(禁煙) 南側休憩所(禁煙)	トイレ 車いす用 トイレ 水飲み場 傘立て 自動販売機 喫煙所
2F	一般の方は入れません。		
1F	●総合案内所 (点字ガイドブック貸出) (車いす・ベビーカー貸出) ●チケットうりば ●特別展示室	ホール・会議室・学習室(貸出施設) ミュージアムショップ カフェ レストラン 墨田区文化観光コーナー	トイレ 車いす用 トイレ オストメイト 対応トイレ 授乳室 救護室 公衆電話 傘立て コイン ロッカー 自動販売機 喫煙所 (屋外) 水飲み場 タクシー のりば 団体/バス及び 身障者用 優先駐車場

※1F 特別展示室、5F・6F 常設展示室、5F 企画展示室は有料ゾーンです。

到着から出発までの流れ

到着

駐車場(1階)

大型バスが30台以上駐車可能です(有料)。

※事前に「団体申込書」でお申し込みください。満車の場合はバス駐車のご利用をお断りすることがあります。

注意事項の確認、昼食

江戸東京ひろば(3階)

集合場所としてご利用いただけます。団体集合写真撮影場所もあります。

お弁当を食べるのに**無料休憩所**(冷暖房完備、北側約250席、南側約100席)もご利用いただけます。

※先着順のご利用となります。ご予約はできません。ご了承ください。



常設展示の見学

常設展示室(入口6階、出口5階)

江戸ゾーン

江戸開府から明治維新まで、大都市・江戸の成立と発展や、人々の暮らしをテーマごとに展示しています。

東京ゾーン

明治から現代まで、発展を続ける東京の変化を時代に沿って展示しています。

5F 企画展示室(常設展示室内)

館蔵資料の紹介を中心に、さまざまなテーマのもと1年に4~6回程度企画展を開催しています。

集合、人数確認

江戸東京ひろば(3階)

※常設展示室出入口付近、展示室内での集合は、他の来館者の迷惑となるためご注意ください。

出発

図書室(入場無料)

江戸東京の歴史や文化に関する図書・雑誌・マイクロフィルムなどを閲覧できます。また、検索システムを利用して、当館所蔵の資料について情報を得ることができます。

カウンターでは書籍の探し方や、江戸東京の歴史や文化に関連することの調べ方などの質問にお答えします。教材研究などにもぜひご利用ください。

●図書資料の館外貸出は行っておりません。

●コピーができます(白黒 30円/1枚、カラー 100円/1枚)。

開室時間 9:30~17:30

閲覧・複写請求受付時間

9:30~11:30

13:00~16:30

休室日

月曜日

(月曜が祝日または振替休日の場合はその翌日)

年末年始

※詳細は当館ホームページ・電話でご確認ください。



江戸ゾーン EDO ZONE

テーマでつかむ 江戸の生活・文化

大項目番号
大項目
中項目

E1 江戸城と町割り

江戸のすがた
ひろがる江戸
総城下町江戸
武家文化

キーワード
江戸幕府⑥
参勤交代⑥



体験展示…
実際に触ったり動かしたりできるもの

キーワード…
小学校3～6年の社会科で扱う言葉・内容
③: 3年生 ④: 4年生 ⑤: 5年生 ⑥: 6年生

E1 江戸城と町割り

江戸のすがた
ひろがる江戸
総城下町江戸
武家の文化

キーワード
江戸幕府⑥
参勤交代⑥



日本橋(模型)

E2 町の暮らし

町のしくみ
暮らしのさまざま

キーワード
町人の文化⑥
寺子屋⑥
火事③④



棟割長屋(模型)

E3 出版と情報

江戸の本屋
あふれる出版物

キーワード
町人の文化⑥
情報⑤



絵草紙屋(模型)

E4 江戸の商業

貨幣と生活
江戸と上方
さまざまな商い

キーワード
商業⑥



三井越後屋江戸本店(模型)

E5 江戸と結ぶ村と島

江戸地廻り経済圏
村と島の生活
玉川上水とその流域
農業⑤

キーワード
玉川上水③④
農業⑤

E6 江戸の四季と盛り場

江戸の四季
江戸の盛り場
庶民の旅と折り



神田明神山車(模型)

キーワード
年中行事③④

E7 文化都市江戸

江戸の文化交流
海外との文化交流

キーワード
蘭学⑥

E8 江戸の美

装いとかざり
浮世絵の世界

キーワード
浮世絵⑥

E9 芝居と遊里

演じる・見る
一歌舞伎の楽しみ
吉原の表と裏



助六の舞台(模型)

キーワード
歌舞伎⑥

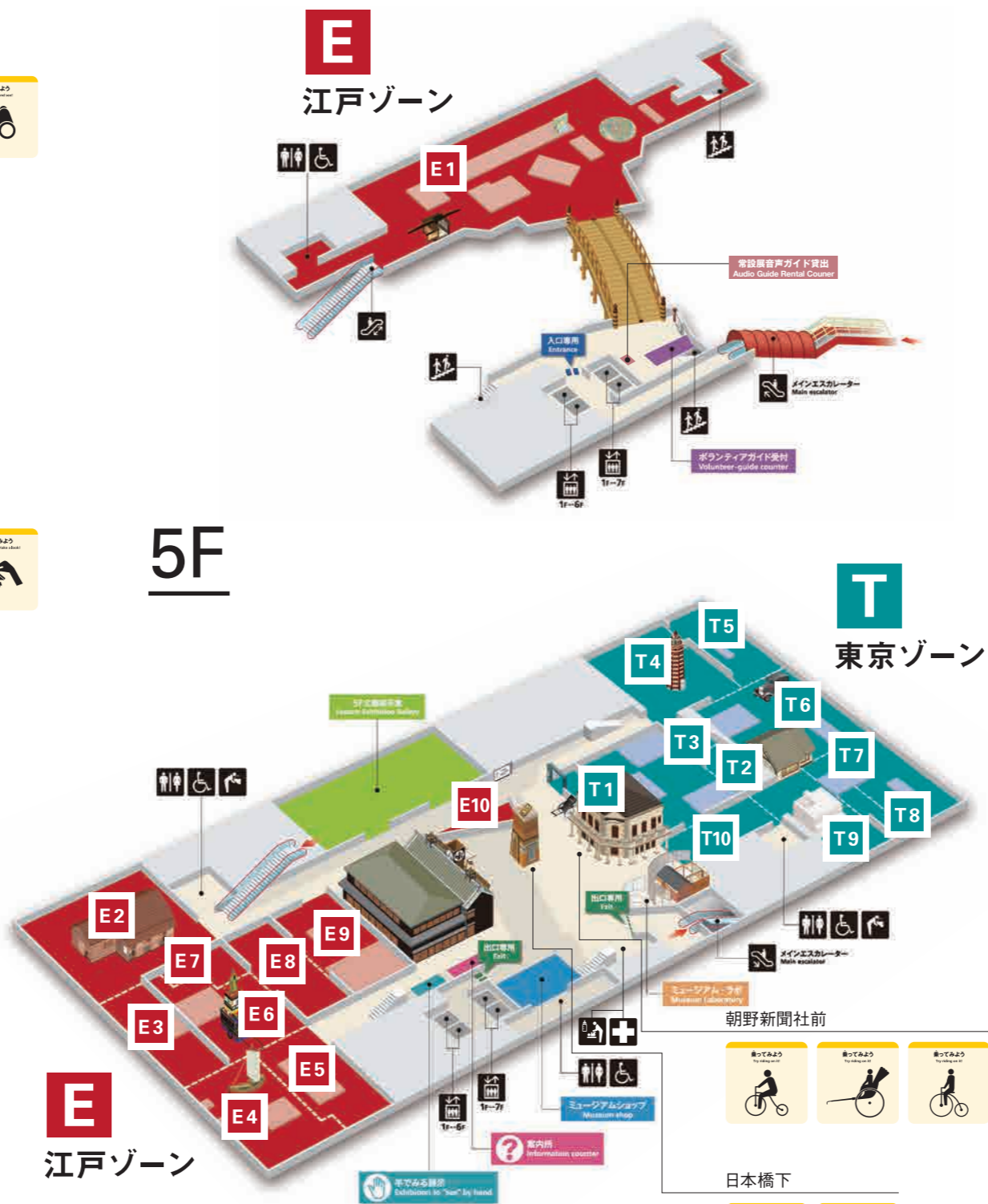
E10 江戸から東京へ

江戸無血開城

キーワード
黒船来航⑥
開国⑥

6F

5F



東京ゾーン TOKYO ZONE

現代へ続く東京の歩み

T1 文明開化東京 (明治初期)

武都から首都へ
欧米文化の受容

キーワード
文明開化⑥
情報(新聞)⑤



銀座煉瓦街(模型)

T7 空襲と都民 (昭和中期)

戦時下の生活
東京大空襲

キーワード
太平洋戦争⑥
空襲⑥



戦時下のすまい(模型)

T2 開化の背景(明治初期)

庶民の日常
明治の教育

キーワード
明治の教育⑥

T3 産業革命と東京 (明治前期)

商工業の都市

キーワード
殖産興業⑥
富国強兵⑥

T8 よみがえる東京 (昭和20年代)

占領下のTOKYO

キーワード
戦後⑥



新宿一夜のヤミ市(模型)

T4 市民文化と娯楽 (明治～昭和初期)

盛り場浅草
東京文化展望



浅草閣(浅草十二階)(模型)

キーワード
情報(雑誌・広告)⑤

T9 高度経済成長期の東京 (昭和30～40年頃)

生活革命
団地と電化生活

キーワード
高度経済成長⑥
東京オリンピック⑥
工業製品⑤



ひばりが丘団地(模型)

T5 関東大震災 (明治後期～昭和初期)

大震災
水害都市東京

キーワード
関東大震災③④⑤⑥
水害③④⑤
荒川放水路・青山土③④⑤
情報(ラジオ)⑤

T10 現代の東京 (昭和35～平成20年頃)

都市問題への対応
変化を続ける東京 (1960-2010)

キーワード
ごみ処理③④
環境問題⑤⑥
交通③④
工業製品⑤
メディア⑤

T6 モダン東京 (大正～昭和10年代)

大東京の成立
生活の変化
戦争への道

キーワード
ガス・電気③④
交通③④
農業⑤



下町の庶民住宅(模型)

暮らしの変化

人々の生活の変化を見てみましょう。

江戸の暮らし

E2 「町の暮らし」コーナー



むねわりながや棟割長屋(模型)
復元年代：江戸後期

昭和初期の暮らし

T6 「モダン東京」コーナー



下町の庶民住宅(模型)
復元年代：昭和初期

戦時下の暮らし

T7 「空襲と都民」コーナー



戦時下のすまい(模型)
復元年代：1944年(昭和19)

昭和中期の暮らし

ミュージアム・ラボ



【体験展示】体験住宅
1954年(昭和29)頃

高度経済成長期の暮らし

T9 「高度経済成長期の東京」コーナー



三種の神器
昭和30年代



ひばりが丘団地(模型)
復元年代：1962年(昭和37)頃

乗り物の変化

移動手段の変化を見てみましょう。

江戸の乗り物

E1 「江戸城と町割り」コーナー



【体験展示】大名の駕籠
江戸時代

明治の乗り物

日本橋下・朝野新聞社前



【体験展示】人力車
明治時代

T1 「文明開化東京」コーナー



銀座煉瓦街(模型)より「鉄道馬車」
復元年代：明治10年代後半(1882~86)

昭和初期の乗り物

T6 「モダン東京」コーナー



フォードA型・4ドアセダン(円タク)
1931年(昭和6)

戦後の乗り物

日本橋下



【体験展示】リンタク
昭和20年代

高度経済成長期の乗り物

T9 「高度経済成長期の東京」コーナー



軽自動車スバル360
昭和33年(1958)以降



ダットサントラックG222型
1960年(昭和35)

戦争と復興

戦争が人々にどのような影響を与えたか見てみましょう。

人々の暮らしを変えた戦争

T6 「モダン東京(戦争への道)」コーナー



代用品
昭和10年代



左：男児用国民服(ボタンが一部陶製)
右：ランドセル(豚革製・布製)

T7 「空襲と都民」コーナー



戦時下のすまい(模型)
復元年代：1944年(昭和19)



疎開地での生活
1944~45年(昭和19~20)

終戦から復興へ

T8 「よみがえる東京」コーナー



ヤミ市で売られていた品々
昭和20年代前半



新宿一夜のヤミ市ー(模型)
復元年代：1947年(昭和22)

環境

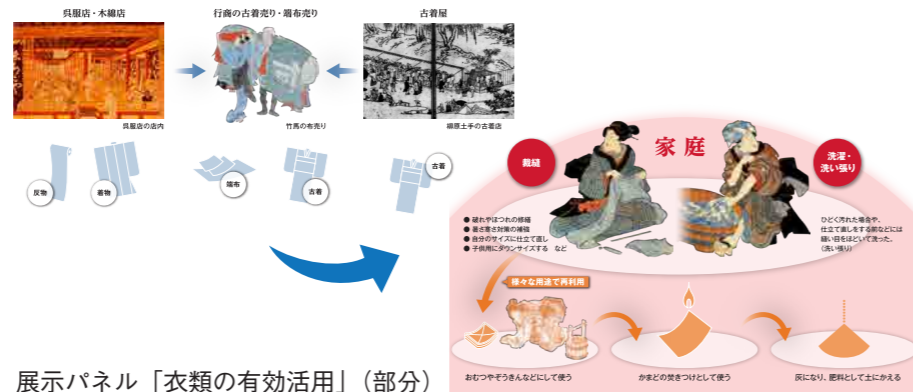
人々の生活と環境とのかかわりを見てみましょう。

江戸のエコロジー

E2 「町の暮らし」コーナー



【体験展示】肥桶

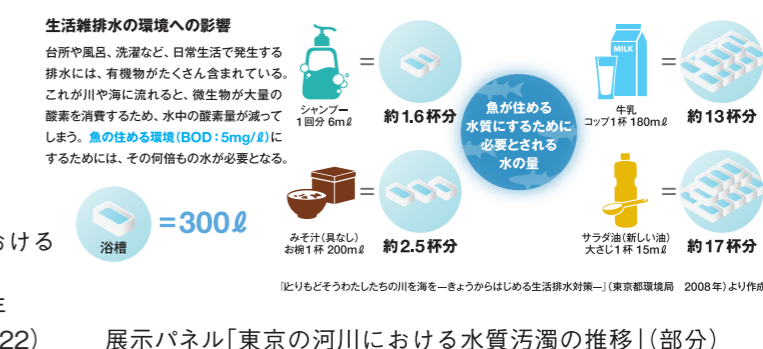


都市問題への対応

T10 「現代の東京」コーナー



東京都区部におけるごみ量の推移
1947~2010年
(昭和22~平成22)



展示パネル「東京の河川における水質汚濁の推移」(部分)

※ 展示替えなどのため写真に載っている資料のうち、常時展示していないものもあります。ご注意ください。

大型模型

むねわりながや
江戸時代の「棟割長屋」や、昭和初期の住宅を再現した「下町の庶民住宅」、高度経済成長期に建設された「ひばりが丘団地」など、時代ごとの人々の暮らしを体感できるよう実物大で展示しています。



棟割長屋
復元年代：江戸後期



下町の庶民住宅
復元年代：昭和初期



ひばりが丘団地
復元年代：1962年(昭和37)頃

体験展示

実際に乗ってみたり、持って重さを体感したり、当時の生活をより身近に感じられる模型や、操作しながら楽しく学べるアイテムなど、博物館だからこそできる体験がたくさんあります。

移動手段の変化を
乗って比較！



かご
大名の駕籠(複製) 江戸時代



リntax(複製) 昭和20年代

朝早く商品を仕入れ
日が暮れるまで
売り歩きました！



ばてぶり
棒手振の売り物(複製) 江戸後期



まちびけし
江戸の町火消の
気分を体験！

まとい
江戸町火消“す”組の纏(複製)
江戸後期

行灯と石油ランプと電灯
どんな違いがあるでしょう？



あんどん
江戸時代のあかり・行灯
明治時代のあかり・石油ランプ
昭和初期のあかり・電灯

体験プログラム

さわってみよう！昔の道具

日時 木曜日 13:30 ~ 14:30
※予約なしで自由にご参加いただけます。
スケジュールはホームページで事前にご確認ください。

所要時間 5分程度

場所 常設展示室5階 ミュージアム・ラボ

内容 「火のし」や「黒電話」など、今ではあまり使う機会がなくなってしまった生活道具を実際に触りながら、当時の生活の様子や、現代との違いについて、学芸員と一緒に考えるプログラムです。



熱くするのに
何を使って
いたと思う？

今のアイロンにはあって、
昔のアイロンにはない
機能はなんだろう？

お湯？

火？

わかった！炭！

あっ！
スイッチがない！

水を入れるところ
もないよ！！

作動する模型

時間になると模型が作動します。あわせてスタッフが解説を行います。

E9 「芝居と遊里」コーナー

歌舞伎の仕掛け 「東海道四谷怪談」のうち「蛇山庵室の場」
毎時 00分、15分、30分、45分に2回ずつ

T1 「文明開化東京」コーナー

鹿鳴館 毎時 00分、20分、40分
ニコライ堂 毎時 3分、23分、43分
銀座煉瓦街 毎時 7分、27分、47分

鹿鳴館(模型)
2階舞踏室
舞踏会の様子



見学の前に…

◆「博物館の展示室がどんなところか」ということを、子供たちへ伝えてください。

展示室には、何十年、何百年と大切に遺してきた貴重な資料があります。そしてお年寄りから小さな子供まで、日本国内だけではなく外国からもたくさんの方が訪れています。そのことをふまえた上で、どのように過ごすのがよいかを、子供たちと一緒に話し合ってみてはいかがでしょうか。

◆「子供たちにどんなことを学んでほしいのか」ということを、明確にしてください。

学習の「目的」を明確にすることで、江戸東京博物館で過ごす時間がより有意義なものになります。限られた時間の中で見学するなら、注目するポイントを絞るのも効果的です。ワークシートなどをご用意いただきテーマに沿って見学すれば、時代ごとに変化や、物事の背景など、博物館での学習をより深めることができます。これまで学校で習ったことの復習としても、これから学習することの予習としても、ぜひ博物館をご活用ください。

【ダウンロード】

江戸東京博物館ホームページ www.edo-tokyo-museum.or.jp
「常設展」、または「目的別利用案内」→「学校関係者の方」からダウンロードしてご利用ください。

■ 小学校学習指導要領（社会）対応表

常設展示室の各コーナーが、社会科の学習指導要領のどこに対応しているかを示した資料です。パネルや模型、実際に触れる体験展示など、コーナーごとにどのようなものが展示されているか知ることもできます。下見や、見学の計画を立てる際などにご活用ください。

江戸東京博物館常設展示			小学校学習指導要領（社会）		
コーナー名	解説パネル 模型など	体験型	3・4年	5年	6年
江戸城と町割り	江戸のすがた	幕末の江戸城 本丸・二丸御殿—模型解説— 江戸の家	日本橋	歩いてみよう 江戸城松の廊下の障壁画(部分)	内容(1)ア 身近な地域や市(区、町、村)の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設など場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物など (都内小学校に該当箇所あり)
	ひろがる江戸	寛永期の武家地 明暦の大火 焼失地図 徳川将軍家・御三家・御三卿系図 御三家と御三卿 江戸城における大名の邸居 江戸幕府のさまざまな役職 参勤交代の経路と日程 大名屋敷と勤番長屋 大名・旗本・御家人 旗本・御家人の俸禄と拝領屋敷 徳川将軍の御台所と生母 海外使節の江戸参府	日本橋	歩いてみよう 江戸城松の廊下の障壁画(部分)	内容(1)イ 参勤交代、鎖国について調べ、戦国の世が統一され、身分制度が確立し武士による政治が安定したことが分かること。
	総城下町江戸	参勤交代の経路と日程 大名屋敷と勤番長屋 大名・旗本・御家人 旗本・御家人の俸禄と拝領屋敷 徳川将軍の御台所と生母 海外使節の江戸参府	日本橋	歩いてみよう 江戸城松の廊下の障壁画(部分)	内容(1)イ 参勤交代、鎖国について調べ、戦国の世が統一され、身分制度が確立し武士による政治が安定したことが分かること。
	武家の文化	江戸幕府の主な年中行事 町の支配と運営 町奉行所のしくみと仕事 町火消の配置 町の構成と諸施設 江戸町人の人口構成 町の住居の家族と年齢構成 江戸町人の人生 江戸町人の一年 さまざまな仕事 江戸時代と現代の年間収支 暮らしの中のあかり 衣類の有効活用 江戸の初物産 江戸の学び 江戸災害年表 江戸の流行病年表	振ってみよう 江戸町火消“す”組の櫓(まとい)	横割長屋	内容(4)ア 関係機関は地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めていること 内容(5)ア 古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子
町の暮らし	町のしくみ	江戸町人の人口構成 町の住居の家族と年齢構成 江戸町人の人生 江戸町人の一年 さまざまな仕事 江戸時代と現代の年間収支 暮らしの中のあかり 衣類の有効活用 江戸の初物産 江戸の学び 江戸災害年表 江戸の流行病年表	横割長屋	振ってみよう 江戸町火消“す”組の櫓(まとい)	内容(4)ア 関係機関は地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めていること 内容(5)ア 古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子
	暮らしのさまざま	江戸町人の人口構成 町の住居の家族と年齢構成 江戸町人の人生 江戸町人の一年 さまざまな仕事 江戸時代と現代の年間収支 暮らしの中のあかり 衣類の有効活用 江戸の初物産 江戸の学び 江戸災害年表 江戸の流行病年表	横割長屋	振ってみよう 江戸町火消“す”組の櫓(まとい)	内容(4)ア 関係機関は地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めていること 内容(5)ア 古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子
情報と出版	江戸の本屋	版本のできるまで 錦絵のできるまで 江戸市中の本屋の分布 寛政年間以降の著名な禁書 江戸の瓦版売り	絵草紙屋		内容(4)イ 情報化した社会の様子と国民生活とのかわり 内容(1)カ 歌舞伎や浮世絵、国文学や蘭学について調べ、町人の文化が栄え新しい学問が起こったことが分かること。
	あふれる出版物	版本のできるまで 錦絵のできるまで 江戸市中の本屋の分布 寛政年間以降の著名な禁書 江戸の瓦版売り	絵草紙屋		内容(4)イ 情報化した社会の様子と国民生活とのかわり 内容(1)カ 歌舞伎や浮世絵、国文学や蘭学について調べ、町人の文化が栄え新しい学問が起こったことが分かること。
江戸の商業	貨幣と生活	江戸時代後期の物産 江戸時代の米 金・銀・銭 三貨の比率 小売物産の推移 東廻り航路と西廻り航路 札差の役割 社組問屋の役割 三井越後屋本店における奉公人の経歴	三井越後屋江戸本店 豪邸廻船	見てみよう 寿司屋の屋台 見てみよう さまざまな屋台 かきあげてみよう 棒手振りの売り物 持ってみよう 千両箱	内容(2)ウ 食糧生産に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸などの働き
	江戸と上方	東廻り航路と西廻り航路 札差の役割 社組問屋の役割 三井越後屋本店における奉公人の経歴	三井越後屋江戸本店 豪邸廻船	見てみよう 寿司屋の屋台 見てみよう さまざまな屋台 かきあげてみよう 棒手振りの売り物 持ってみよう 千両箱	内容(2)ウ 食糧生産に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸などの働き
江戸と結ぶ村と島	江戸地廻り経済圏	新河岸川・利根川・江戸川舟運圏 江戸の玄関 葛西周辺の村落分布図 武蔵野周辺の村落分布図 武蔵野、葛西の江戸との流通 江戸時代の伊豆七島 玉川上水流域図 玉川上水の管理と運営 玉川上水の分水と武蔵野新田 上水と井戸 江戸府内上水使用分布図	小金井橋と玉川上水 四谷大木戸水番屋 上水道の利用	地廻り経済圏	内容(5)ウ 地域の発展に尽くした先人の具体的事例
	村と島の生活	新河岸川・利根川・江戸川舟運圏 江戸の玄関 葛西周辺の村落分布図 武蔵野周辺の村落分布図 武蔵野、葛西の江戸との流通 江戸時代の伊豆七島 玉川上水流域図 玉川上水の管理と運営 玉川上水の分水と武蔵野新田 上水と井戸 江戸府内上水使用分布図	小金井橋と玉川上水 四谷大木戸水番屋 上水道の利用	地廻り経済圏	内容(5)ウ 地域の発展に尽くした先人の具体的事例

※掲載されている展示物は、展示替えやメンテナンスのため展示されていない場合もあります。ご了承ください。(部分)

■ ワークシート

ダウンロードして使えるワークシートもご紹介します。当館ホームページから印刷してご利用ください。解答は常設展示室5階ミュージアム・ラボでご覧いただけます。



コーナー別のワークシートなら、見学時間やテーマに合わせて数枚を選び、組み合わせて使うことができます。

江戸ゾーン

6階 E1 江戸城と町割り

鳥取藩主の池田屋敷(23) 約702kmもの道のりを何日かけて行っていたでしょう。

参勤交代で江戸へ向かった場合、鳥取藩主の池田屋敷(23) 約702kmもの道のりを何日かけて行っていたでしょう。

◆体験してみよう！
大名が移動に使っていた駕籠に乗ってみよう！
江戸まで何日も乗っていた大名は、どんな気持ちだったでしょう？

泊り 日

東京ゾーン

5階 T1 文明開化東京

文明開化
明治時代になると、西洋の文化が日本に次々と取り入れられるようになりました。
鉄道馬車やガス灯の登場や、人々の服装など、街の様子が大きく変わります。
朝野新聞社があったのはどこでしょう。

銀座 街

◆観てみよう！
文明開化のときに登場して、今も残っているものは何があるでしょうか。

ワークシートの活用にあたって

- ・展示室では鉛筆をお使いください。
- ・復元模型や解説板、展示ケース、壁などの上で書かないようにご指導ください。ほかの来館者の見学の妨げとなります。また、傷や汚れの原因にもなります。ボードなどをお持ちください。
- ・見学時間に応じた問題数をご用意ください。問題数が多いと、時間内に終わらせようと走ってしまう場合があります。ゆとりを持って取り組めるようご準備ください。
- ・ケースなどに展示されている資料は、保存のため毎月休館日に展示替えを行っています。オリジナルのワークシートを作成される際はご注意ください。

【学校団体のご利用について】

救護室

1階と5階常設展示室内にございます。体調のすぐれない児童・生徒さんはここで休むことができます。案内係・警備員にお声がけください。



水飲み場

展示室内でも、水飲み場限り水分補給ができます。お弁当やお菓子を食べる際は3階江戸東京ひろばをご利用ください。



【教職員の方の当館下見について】 ※事前予約不要

小・中・高等学校で、教育課程に基づく教育活動に先立ち、教職員の方が事前に下見される場合は、常設展の観覧料が無料になります。

※来館時に、1階総合案内所または3階チケット売り場でその旨をお申し出いただき、身分証明書など所属のわかるものをご来館される人数分ご提示ください。

【団体申込について】

校外学習など、学校の教育活動として団体でご来館いただく場合は、あらかじめ所定の様式による団体申込書の提出をお願いしております（お電話での申込みは受付けておりませんのでご注意ください）。

学校の教育活動で来館する教職員などの方は、団体を引率していただくために無料といたします（事前に人数などの申請が必要です。団体申込書にその旨記載してください）。

団体申込・観覧料免除の申請方法

1

申込用紙
ダウンロード

当館ホームページより団体申込書をダウンロードしてください。

2

申込用紙
FAXで送付

必要事項をご記入の上、FAXで送付してください（バス駐車場予約と団体入場予約を兼ねています）。
※受付は先着順とさせていただきます。
来館予定日の2週間前までに必ずお申込みください。

3

江戸東京博物館より
「承認書」を返送

ご返送した承認書は観覧当日、受付の際に必要となりますので、必ずご持参ください。

学校団体へのお願い

館内には、小学校団体の他にもお年を召した方や小さなお子さんなど、国内外から多くのお客様がいらっしゃいます。見学の前にマナーについての指導をお願いいたします。

- ① 館内では走ったり、大声で騒いだりしない。
- ② 展示してある資料には触らない。
- ③ 筆記用具は鉛筆を使う。
- ④ 飲食は決められた場所でのみ行う。

団体見学についてのお問い合わせ先
お申込書宛先

東京都江戸東京博物館 団体見学担当
〒130-0015 東京都墨田区横綱1-4-1
TEL: 03-3626-9974 (代表)
受付時間 9:00-17:00 ※休館日を除く
FAX: 03-3626-9950